



未来の
ために、
いま選ぼう。

BASIC (OECD 2019) のイロハ

～公共政策にナッジ等の行動インサイトを活用しようとする
実務者や政策立案者のための包括的なツールキット～

環境省ナッジPT(プラチナ)
日本版ナッジ・ユニット (BEST) (事務局:環境省)

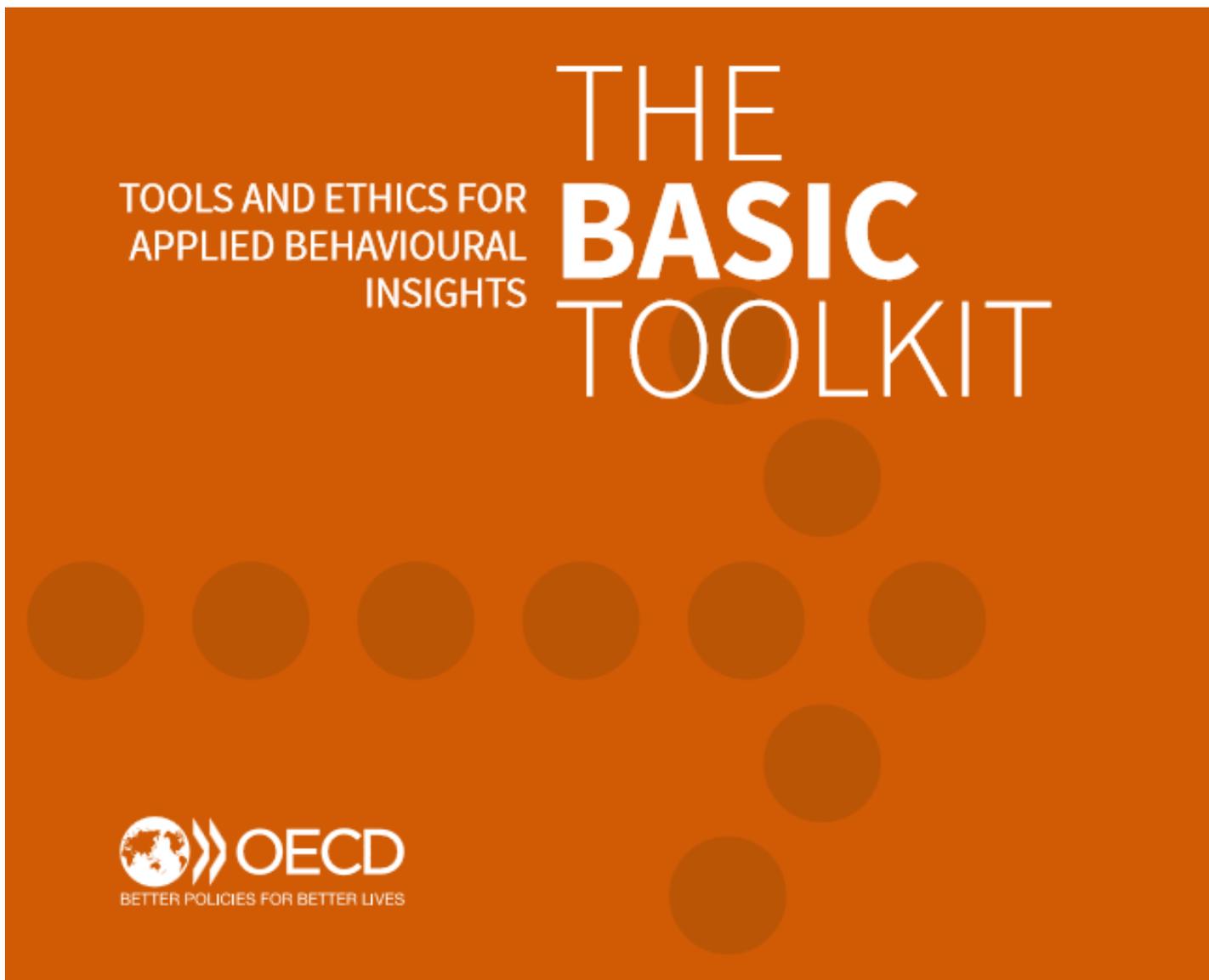


Behavioral Sciences Team
for a better choice

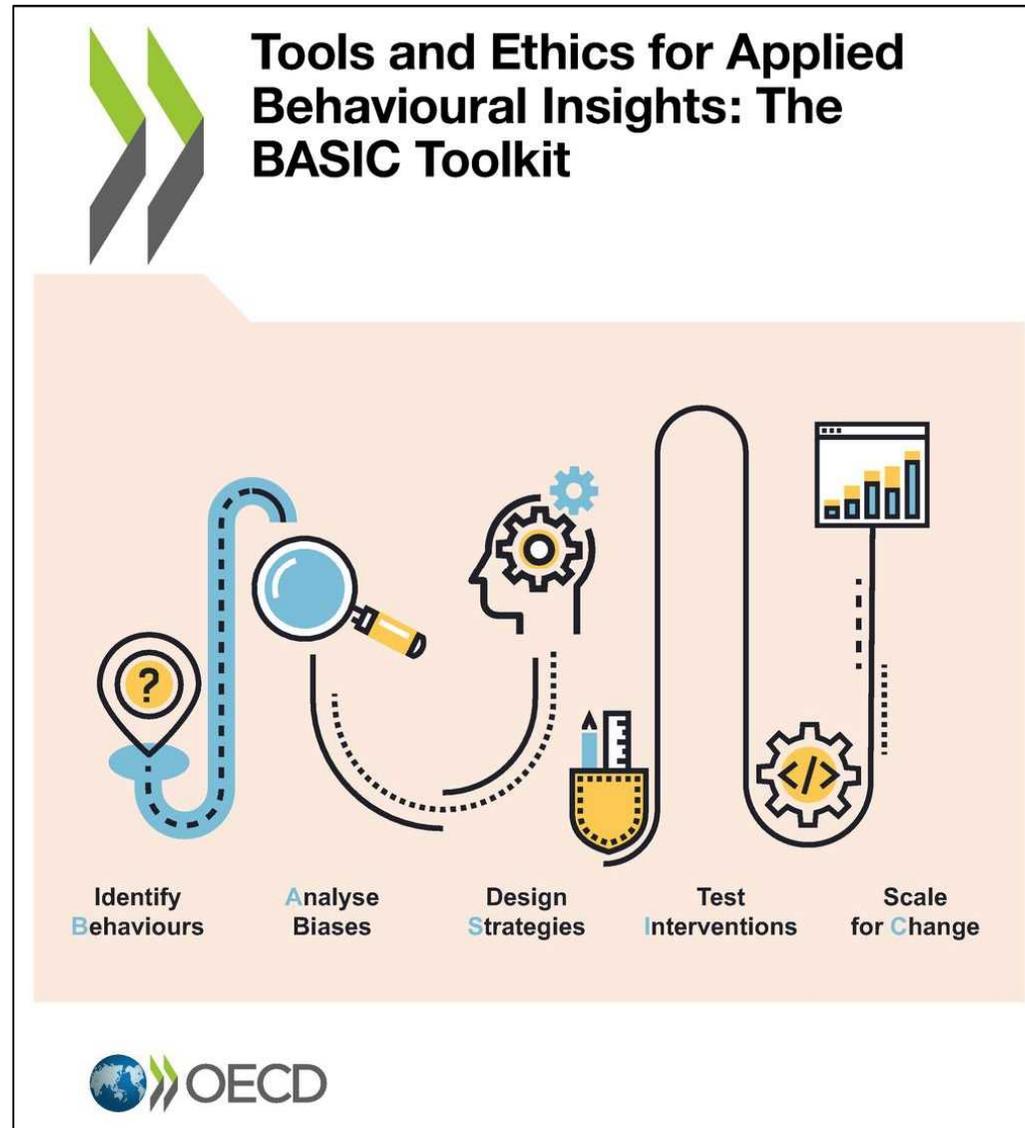
令和元年9月10日

OECDによる実務者や政策立案者向けの包括的なツールキット “BASIC” (2019)

- 行動インサイトの活用に関する既存のフレームワークを踏まえて、実務者の協力の下、実務者のために策定 (for practitioners, by practitioners)
- 公共政策のサイクルの初めから終わりまでを対象とし、実務者に対してツール・手法・倫理ガイドラインを示す 包括的なフレームワークが欠如しているとの指摘を踏まえて策定された
- 世界中のあらゆるレベルの政府や公的主体が課題の解決のために行動インサイトを広く活用していることに鑑み、以下の課題に対応することを企図
 - 政策及び行動インサイトの実務者が公共政策に行動インサイトを適用しようとする際に、より効果的かつ体系的に実務をこなすこと
 - 政策及び行動インサイトの実務者が 行動インサイトを責任をもって適用するとともに、行動インサイトを不適切に適用・誤用するという潜在的な脅威から市民を最大限守ること



出典：OECD (2019), Tools and Ethics for Applied Behavioural Insights: The BASIC Toolkit



出典：OECD (2019), Tools and Ethics for Applied Behavioural Insights: The BASIC Toolkit

BASICの構成：5つの基本ステージ

BEHAVIOUR

- 【行動】 行動の観点で政策課題の重要な側面を見つけて標的にする

ANALYSIS

- 【分析】 標的にした行動を行動科学のレンズで徹底的に調べる

STRATEGY

- 【戦略】 行動を活用した解決策を見つけて構想を練る

INTERVENTION

- 【介入】 実験をデザインして効果を検証する

CHANGE

- 【変化】 施策の実施、横展開、監視、評価、維持管理、結果の普及について計画を立てる

BASICで使われているABCDフレームワーク

Attention

- 【注意】人間の注意力には限りがあり、容易にそらされる

Belief formation

- 【信念形成】人間はメンタルショートカットや直観的な判断に頼り、しばしば結果や確率を過大・過小評価する

Choice

- 【選択】人間はフレーミングや選択する社会的・状況的な文脈の影響を受ける

Determination

- 【意思決定】人間の自制心には限りがあり、心理的バイアスの影響を受ける

主にAnalysisとStrategyで用いる

BASICの各ステージの論点 (全体俯瞰図)

